

2021年3月期 決算説明資料

YSK 焼津水産化学工業株式会社

2021年5月25日

目次

- ① 2021年3月期 業績概要
- ② 中期経営計画の進捗状況
- ③ 2022年3月期 業績見通し

① 2021年3月期 業績概要

2021年3月期 連結業績概要

(単位：百万円)

	連結				
	2020年 3月期	2021年3月期		前期比	計画比
		計画※	実績		
売上高	14,921	13,000	14,312	△608 (△4.1%)	+1,312 (10.1%)
営業利益	823	100	695	△128 (△15.6%)	+595 (595.0%)
営業利益率	5.5%	0.8%	4.9%	△0.6pt	+4.1pt
経常利益	886	150	724	△162 (△18.3%)	+574 (382.7%)
当期純利益	316	50	250	△66 (△21.0%)	+200 (400.0%)
ROE	1.6%	0.3%	1.3%	△0.3pt	+1.0pt

※2020.5の公表値

＜連結売上高＞

売上減少の主因は主力の調味料で2019年に判明した不正表示問題および2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う販売活動の制約による影響があり前期比△608百万円の減収

＜連結営業利益＞

利益率の高い調味料、機能食品の売上減少に加え水産物の原材料価格の上昇などにより前期比△128百万円、営業利益率は5.5%⇒4.9%と0.6ptダウン

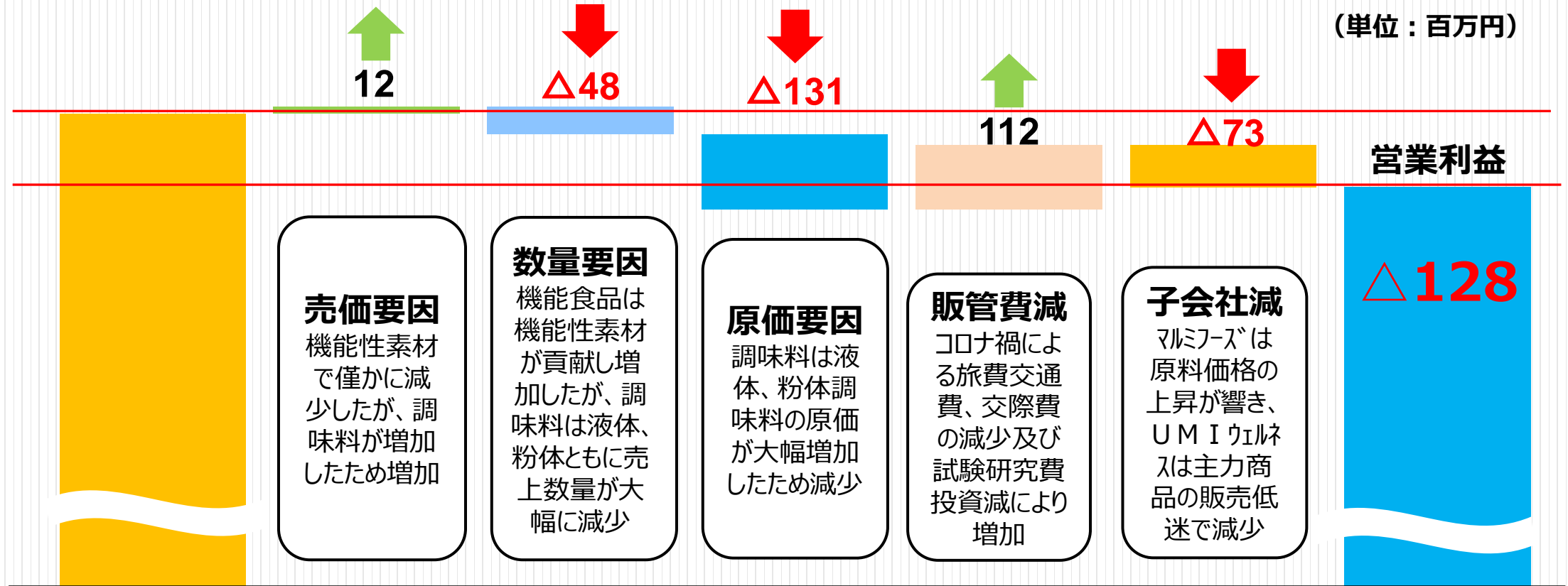
＜連結当期純利益＞

工場集約の中止に伴う減損損失241百万円を特別損失に計上したこと等により前期比△66百万円(△21.0%)の減益

ROE実績は前年比△0.3ptダウン

2021年3月期 連結営業利益 増減要因

(単位：百万円)



20年3月期
連結営業利益
823百万円

21年3月期
連結営業利益
695百万円

セグメント別 売上高

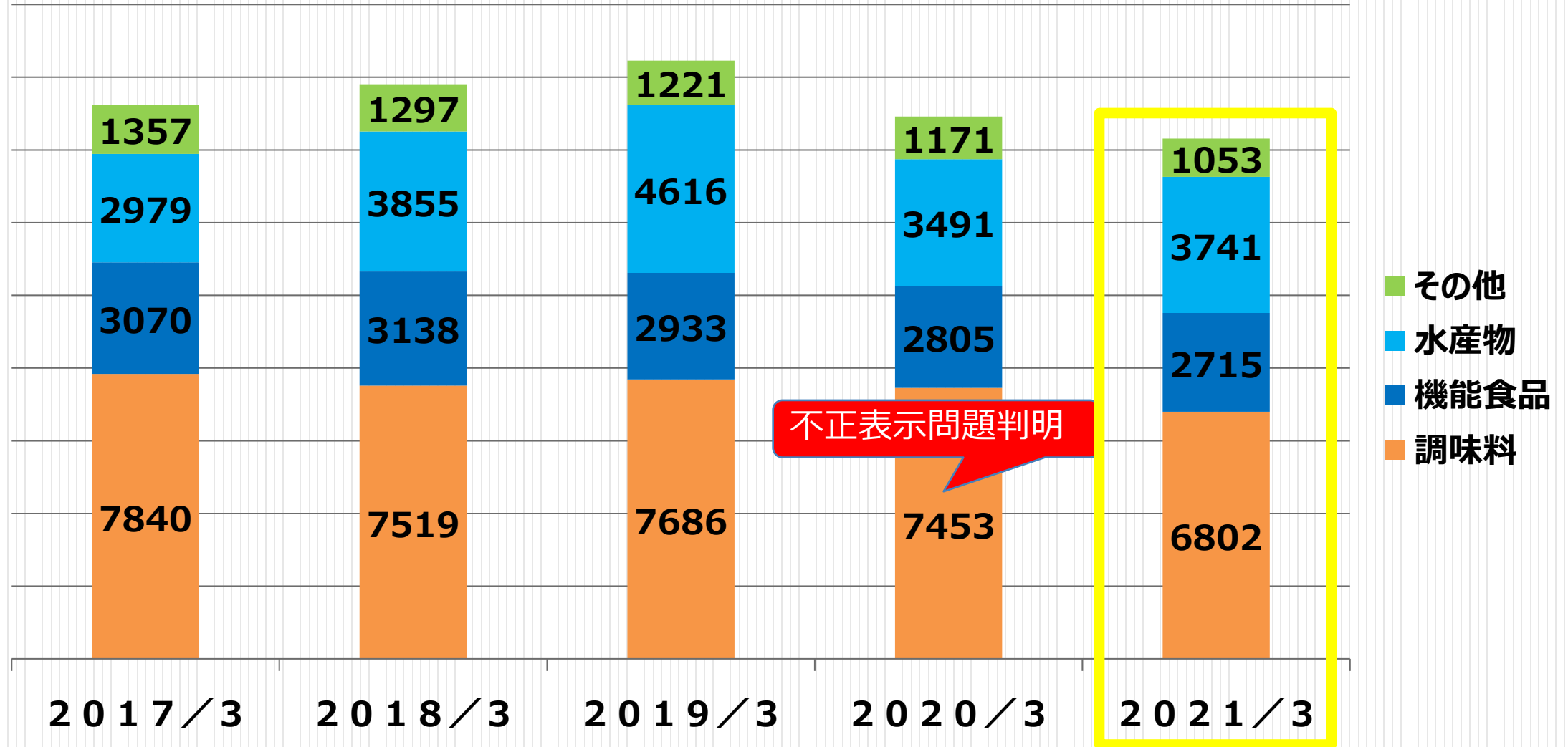
(単位：百万円)

	20/3期	21/3期	
	売上高	売上高	前期比
調味料	7,453	6,802	△651
機能食品	2,805	2,715	△89
水産物	3,491	3,741	249
その他	1,171	1,053	△117
合計	14,921	14,312	△608

- ①調味料は、液体調味料、粉体調味料、香辛料ともに減少し△8.7%
- ②機能食品は、アンセリンの売上が増加した一方、主力のN-アセチルグルコサミン（NAG）等が減少し△3.2%
- ③水産物は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等あったものの本鮪、南鮪など高額商品の加工販売の増加により+7.2%
- ④その他は、化粧品通信販売及びその他商品の販売がいずれも伸び悩み△10.1%

セグメント別連結売上高推移（2017年3月期～2021年3月期）

（単位：百万円）



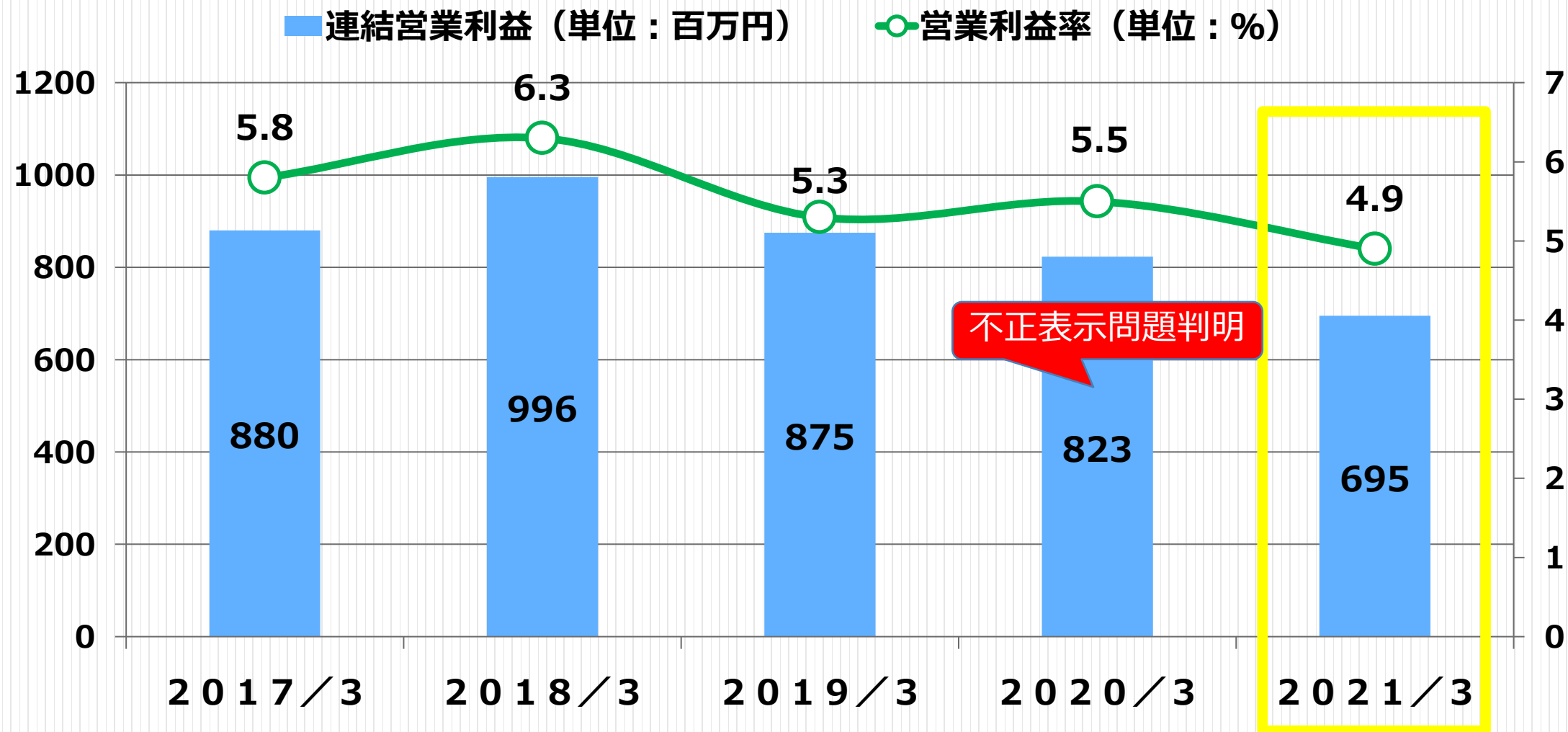
セグメント別 営業利益

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期	
	営業利益	営業利益	前期比
調味料	746	572	△174
機能食品	607	683	+75
水産物	39	0	△39
その他	28	37	+8
全社	△599	△597	+1
合計	823	695	△128

- ①調味料は、減収および原材料価格の上昇等により△23.3%
- ②機能食品は、利益率の高い機能食品素材の伸長により+12.4%
- ③水産物は、原料価格の上昇や外注加工費の増加によりセグメント損失△0百万円
- ④その他は、広告宣伝費の削減などにより+31.4%。

連結營業利益推移 (2017年3月期~2021年3月期)



2021年3月期 業績概要（調味料）

（単位：百万円）

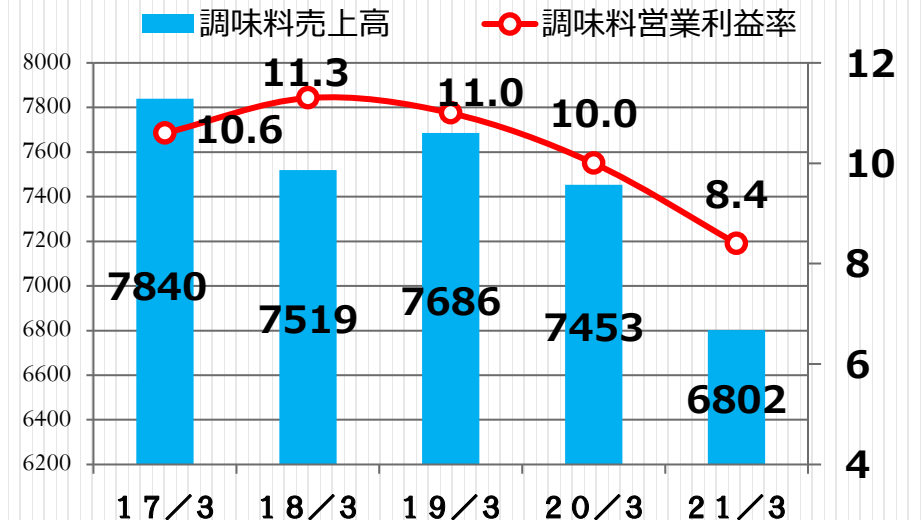
	20/3期	21/3期	前期比
液 体	3,462	3,200	△261
粉 体	3,942	3,564	△378
香 辛 料	48	37	△11
売上高 合計	7,453	6,802	△651
営業利益合計	746	572	△174
営業利益率	10.0%	8.4%	△1.6pt

＜売上高＞

不正表示の影響や新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う販売活動の制約などにより液体調味料、粉体調味料、香辛料ともに減少

＜営業利益＞

調味料全体の営業利益は△23.3%、営業利益率は1.6pt減の8.4%



2021年3月期 業績概要 (機能食品)

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期	前期比
機能性食品素材	2,210	2,173	△37
機能食品	594	542	△52
売上高合計	2,805	2,715	△89
営業利益合計	607	683	+75
営業利益率	21.7%	25.2%	+3.5pt

<売上高>
 機能性食品素材ではアンセリンが堅調に伸長したがNAGが減少し△1.7%、機能食品では子会社健食通販で主力商品NAG減少で△8.8%

<営業利益>
 利益率の高いアンセリンが大手の機能性表示食品に新規採用となるなど増加し営業利益率も+3.5pt

2021年3月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		20/3	21/3	増 減	主 な 内 容
資 産 の 部	流動資産	14,618	14,622	4	たな卸資産 +103 現金及び預金 +47 その他流動資産+26 受取手形、売掛金 △173
	固定資産	7,676	7,815	138	投資有価証券 +428 退職給付に関わる資産+37 建物及び構築物 △334 機械、運搬具 △40
	資産合計	22,295	22,438	143	
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流動負債	2,449	2,555	105	建設関係支払手形 +172 支払手形及び買掛金 △25 未払法人税等 △22
	固定負債	312	498	186	繰延税金固定負債 +170
	純資産	19,533	19,384	△148	その他有価証券評価差額金 +295 利益剰余金 △45 自己株式△399
	負債・純資産合計	22,295	22,438	143	

② 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画の見直し

2020年3月期～2022年3月期

「*Create Next YSK*」

見直した経営ビジョンと基本戦略

顧客に支持される食品メーカーへ

国内調味料

品質保証体制
の抜本的見直し

国内機能性

海外展開

新たな事業
分野創出

顧客の
信頼回復

顧客に支持される
品質保証体制

差別化と
フィールド拡大
による成長

海外事業の
ステージアップに
向け体制整備

新規事業育成
に向け体制整備

経営基盤の強化戦略（コンプライアンス、コミュニケーション等）

開発機能の強化戦略（10年スパン）

個別戦略（1）

【国内調味料】 顧客の信頼回復

- **重要顧客（既存）の課題解決をスピード感をもって行う社内体制の確立**
→（PB品の推進、DXによる案件マネジメント）
- **戦略4分野に絞った得意先（新規）の攻略**
→（調理済み食品, 畜肉加工品, 農産加工品, 水産加工品）
- **安定納品可能な生産体制の整備**
→（在庫量増加, 新規原料供給先からの調達）

個別戦略（2）

【国内機能性】

差別化とフィールド拡大による成長

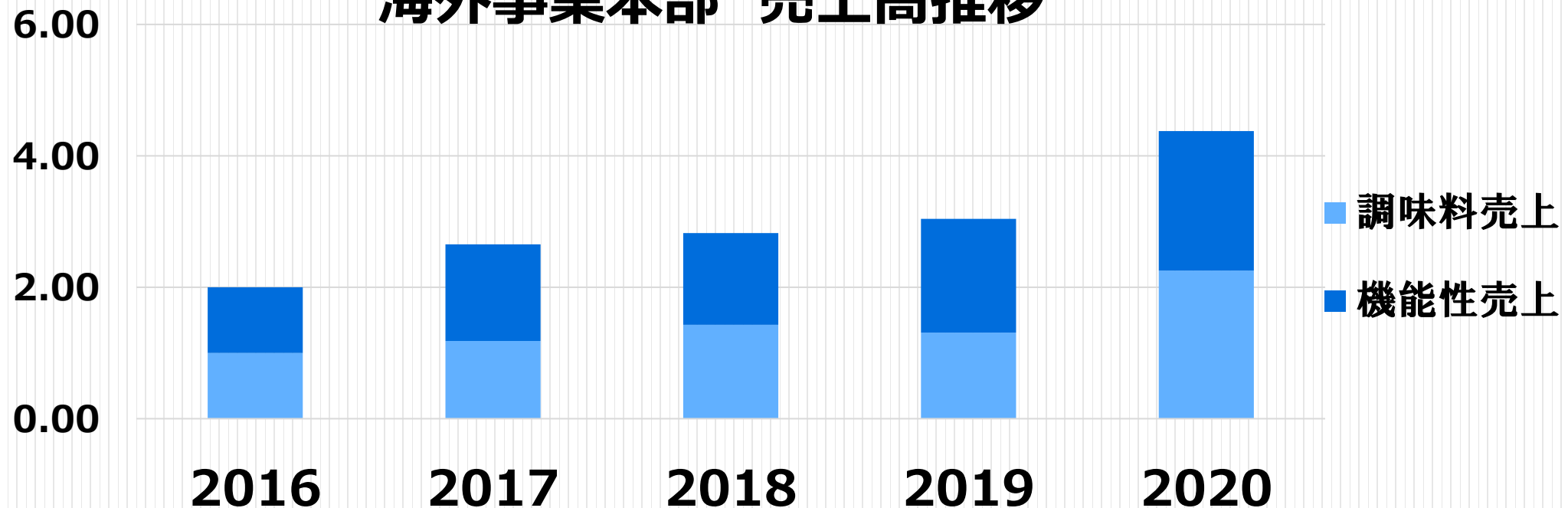
- ・ 新規データ取得と論文投稿を行い機能性表示食品制度を活用した提案に注力
 - 「NAG」膝関節向け製品（サプリ、飲料、スイーツ等）
 - 「アンセリン」：尿酸値低減（サプリ、飲料等）
- ・ 海藻由来の機能性食品素材「フコース」を上市（2021年4月19日 販売開始）

個別戦略（3）-1

【海外展開】

海外事業のステージアップに向けた体制整備

海外事業本部 売上高推移



2016年の調味料、機能性の売上を1とした伸長率

個別戦略（3）-2

【海外展開】

海外事業のステージアップに向けた体制整備

- ・ **コロナ禍で海外出張が制限**
→ **Web活用し代理店・ユーザーと活発に商談**
- ・ **調味料分野 戦略エキス製品の拡販**
（タイ・ベトナム・中国）
- ・ **機能性分野 各国の原料認証制度の活用**

個別戦略（4）

【品質保証体制の抜本的見直し】

顧客に支持される品質保証体制の確立

- ・ 正しい食品表示の提供を可能とする組織体制とシステムの構築・定着化（内部統制を強化し社内基準書と品質保証書の作成部署を分離）
- ・ 精緻な品質検査体制の構築
- ・ 食品不正表示に対する再発防止策の実行と改善

③ 2022年3月期 業績見通し

2022年3月期 連結業績予想（概要）

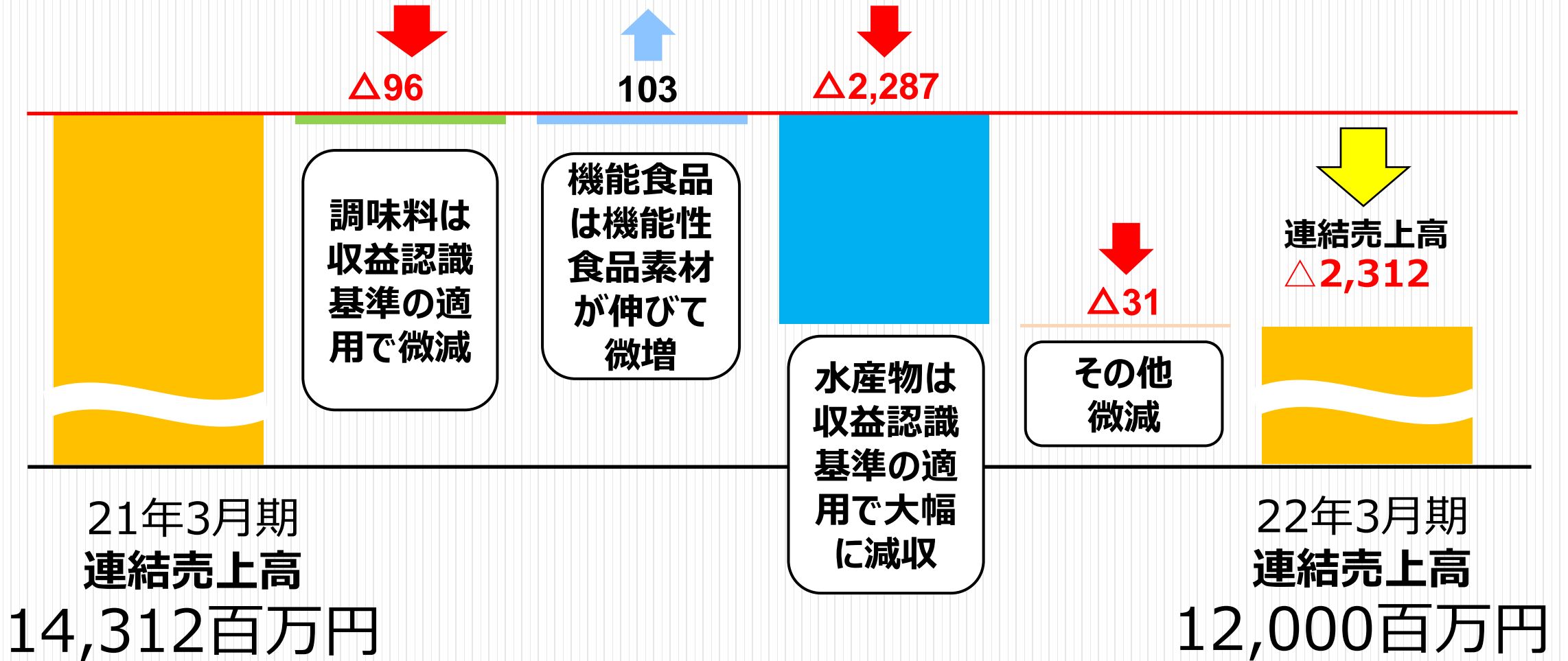
（単位：百万円、％）

	2021年3月期（実績）			2022年3月期（計画）					
	上期	下期	通期	上期計画	前年同期比	下期計画	前年同期比	通期計画	前年同期比
売上高	7,150	7,161	14,312	6,000	△1,150	6,000	△1,161	12,000	△2,312
営業利益	300	394	695	300	0	450	55	750	55
営業利益率	4.2%	5.5%	4.9%	5.0%	0.8pt	7.5%	2.0pt	6.3%	1.4pt
経常利益	318	406	724	300	△18	500	94	800	76
当期純利益	179	71	250	※670	491	180	109	850	600
ROE			1.3%					4.3%	

※2021.5.10付適時開示：「投資有価証券売却に伴う特別利益を上期中に560百万円計上」

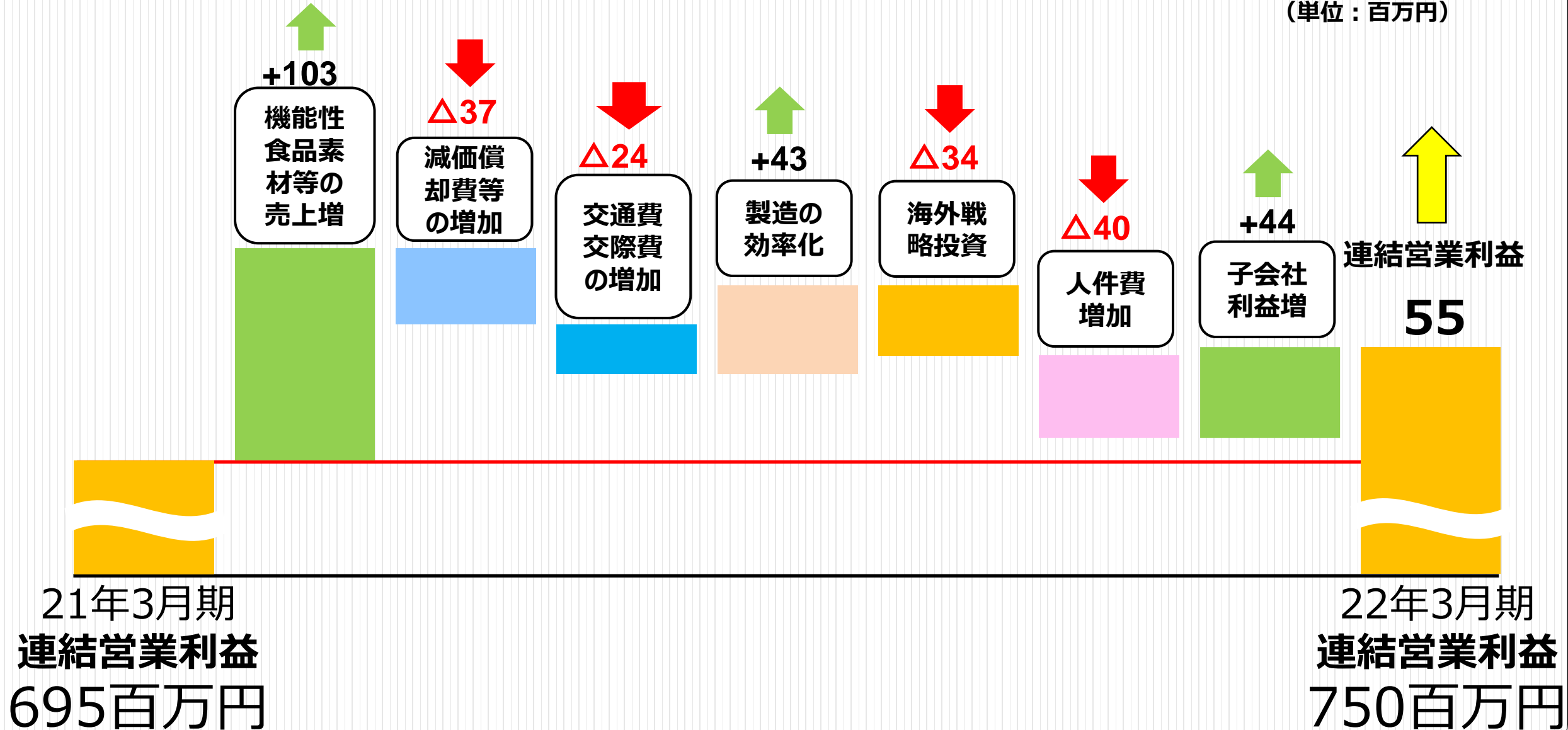
2022年3月期 連結売上高 増減予想

(単位：百万円)



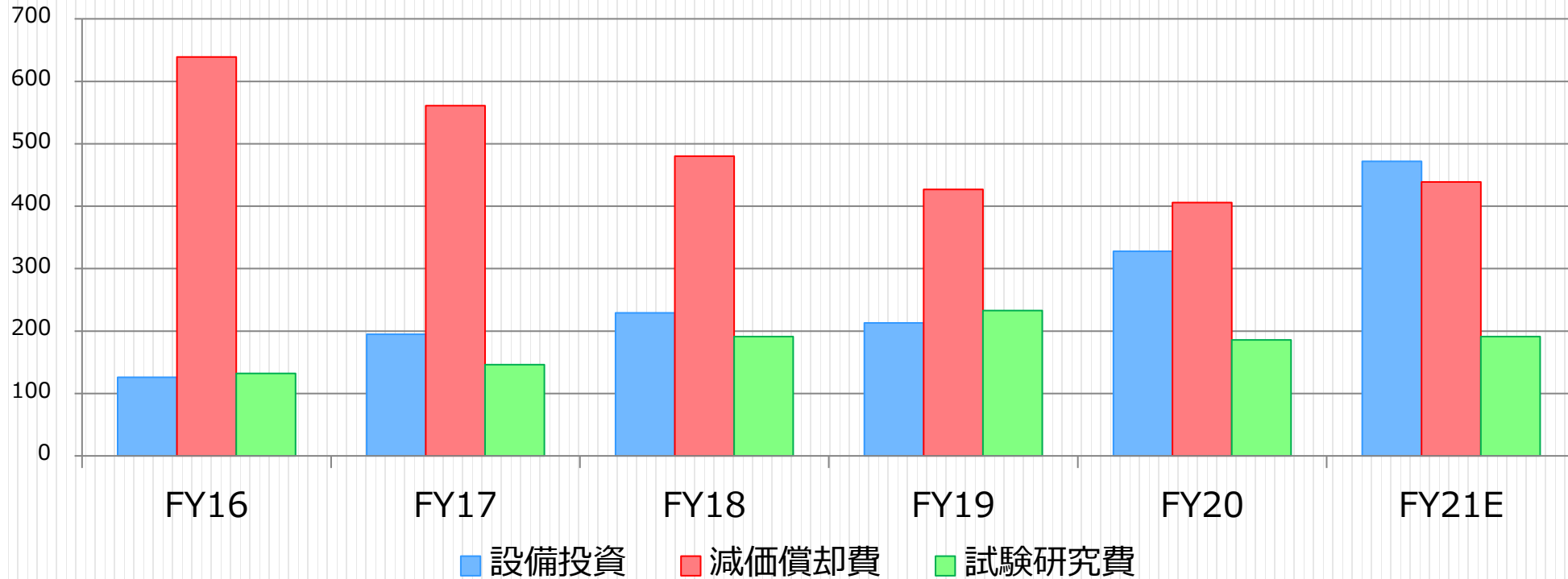
2022年3月期 連結営業利益 増減要因

(単位：百万円)



2022年3月期 設備投資、減価償却費、試験研究費

(単位：百万円)



	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21E
設備投資	126	195	229	213	328	472
減価償却費	639	561	480	427	406	439
試験研究費	132	146	191	233	186	191

An underwater scene with a diver on the left and a large school of fish swimming towards the right. The water is clear and blue, with sunlight filtering from the top right. The YSK logo is positioned in the upper right corner.

YSK

焼津水産化学工業グループは
天然素材の持つ
無限の可能性を追求し、
“おいしさと健康”を通して
豊かな生活に貢献します。